

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成21年9月10日(2009.9.10)

【公開番号】特開2008-287320(P2008-287320A)

【公開日】平成20年11月27日(2008.11.27)

【年通号数】公開・登録公報2008-047

【出願番号】特願2007-129053(P2007-129053)

【国際特許分類】

G 0 6 F 21/24 (2006.01)

G 0 6 F 12/00 (2006.01)

G 0 1 N 35/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 12/14 5 6 0 A

G 0 6 F 12/00 5 3 7 A

G 0 1 N 35/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成21年7月8日(2009.7.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

機器分析により取得された分析データやこの分析データから派生するデータ、並びに分析機器を制御するための指示データといった分析関連データをファイル形式で保存・管理するためのデータ管理装置であって、

a)ある分析関連データに対して承認状態情報を付与する指示が与えられたとき、該分析関連データに対して承認状態情報を付与する承認状態付与手段と、

b)前記承認状態付与手段によって前記分析関連データに所定の承認状態情報が付与されたとき、またはロック指示が与えられたとき、該分析関連データ及び該承認状態情報を編集不可能な状態にロックするデータロック手段と、

を備えることを特徴とする機器分析用データ管理装置。

【請求項 2】

更に、

c)前記分析関連データを、該分析関連データを作成したユーザからの要求のみに応じて、編集不可能な状態にロックする又は該編集不可能な状態を解除する編集ロック手段を備えることを特徴とする請求項 1 に記載の機器分析用データ管理装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 4】

ハードディスク 4 2 には分析関連データを格納・管理するデータベースである分析関連データデータベース（以後「分析関連データ DB」と略記する）4 2 1 と、データ管理ソフトウェア 4 2 2 とが含まれる。図 2 には、中央制御部 4 0 がデータ管理ソフトウェア 4 2 2 を実行することによりソフトウェア的に実現する機能であるデータロック手段 5 1 及

び承認状態付与手段 5 2 も描かれている。

分析関連データ DB 4 2 1 に格納されている分析関連データは、分析装置から取得された分析データやこの分析データから派生する各種のデータを含んでおり、これらには、分析の結果取得された生データに加えて、サンプル名、登録日時、登録装置名、分析装置名をはじめとする種々の情報も含まれる。また、分析関連データには、分析装置を制御するための、分析条件等をはじめとする指示データも含まれる。

そして、分析関連データにはその承認状態を示す承認状態情報が付与される。承認状態情報は、分析関連データ自体に付与してもよいし、別に専用の管理テーブルを設けることによって分析関連データとは分けて管理しても構わない。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 2】

以上において説明した実施形態では、分析関連ファイルがロックされるまでは、その分析関連ファイルに含まれるデータを変更することが可能となっている。しかし、場合によっては、最初に登録された分析関連ファイルに変更が何ら加えられていないことを明確にする必要がある。このような要求に応えるために、本発明の機器分析用データ管理装置は、更に、その分析関連データを作成した（または登録した）ユーザからの要求のみに応じて、分析関連データを編集不可能な状態にロックする編集ロック手段を備えることができる。

編集ロック手段は、分析関連データを編集不可能な状態にロックするが、承認状態情報はロックしない。従って、編集ロック手段によってロックされた分析関連データは、複数の者によって順次承認されてゆくことが可能である。

入力部 4 3 より編集ロック手段によってロックされている分析関連ファイルのコピーを指示する命令が入力されたとき、またはロックされているファイルを編集する命令が入力されたときには、データ管理装置は、承認状態情報を削除する若しくは「未確認」の状態にして新たなバージョンのファイルを作成する。

編集ロック手段はまた、その分析関連データを作成したユーザからの要求のみに応じて、編集不可能な状態を解除するようにする。